

ちんすい
あ
びん





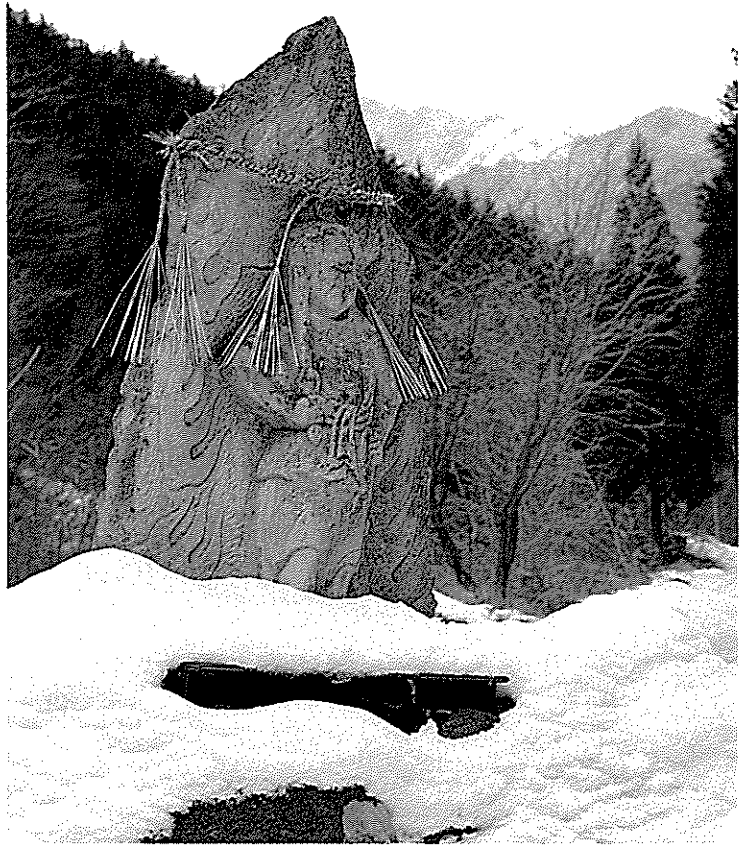
巴文軒先瓦



複弁蓮花文軒丸瓦(土井久から出土)

雨乞の絵馬(西河内峯王神社)





行者山不動尊



大峯山大権現碑(岩菴)

金屋子神祠(岩野辺内海)



七野大橋の袂にある道標

はじめに



このたび千種町制施行二十周年を記念して「ちくさの蹤」を刊行するのはこびになりましたが、久しく待望していた私は、編さんにあたり献身的なご協力をいただいた関係各位に対し深く感謝いたしますとともに包みきれぬ喜びを覚えています。この一書が、先人の生活をしのぶ尊い資料となるだけでなく将来の千種町の飛躍にも大きく役立つものであると確信しております。

播磨国風土記の敷草村「草を敷き神の座を為す」が今の千種であります。清らかに輝いて流れる千種川を中心に恵まれた緑の山、豊かな清い水、公害や騒音からも程遠い清浄な空気、このすばらしい自然環境、幾多の歴史を秘めた千種の里は昭和三十五年一月合併なしで従来の千種村から千種町として発足し、輝やかしい一九八〇年代の幕あけが町制二十周年にあたり、人間なれば二十才の成人を迎えたという極めて意義深いものであります。

私はこの貴重な一書をひもとき先人の誠実と勤勉、営々たる努力が今の千種町の強固な基礎を築きあげられたものであることを感銘するものであります。

私はこの尊い遺産を継承できますことに誇りを感じるとともに、将来の千種町をえがき、愛情と活力のある豊かな町づくりのために「おごる」ことなくそして、経済の不安に「動揺」することなく「反省」と「努力」の上になって長期の希望をふまえ一歩一歩着実に千種町発展のために献身していくことを誓い、この資料があとに続くひとびとによき教訓をもたらすよう念願して止みません。

昭和五十五年一月

千種町長

小原 朗

もくじ

口 絵

はじめに 小原 朗町長……………1

千種むかしむかし……………5

千種の地名……………19

往古むかしの蹤あしあと……………43

越 訴……………67

雨 乞……………87

長州征伐……………93

大陸の花嫁……………117

あとがき……………120